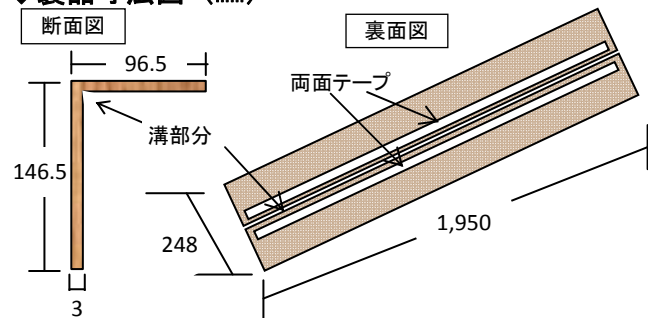
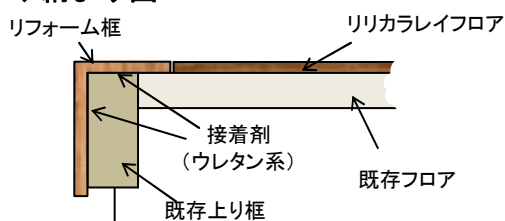


## リフォーム枠 施工要領及び注意事項

### ◆製品寸法図 (mm)



### ◆納まり図



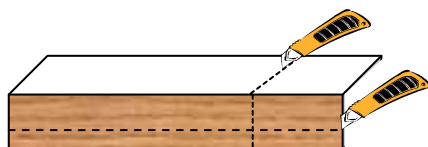
### ◆施工手順

#### 【1】下地処理

- 既存の上り框の天板及び前板部分に付着している汚れ・油分等を十分に除去してください。  
**⚠** ワックス分等が残っておりますと両面テープ及び接着剤が効かなく、剥がれ・反りを起こす原因になりますので、サンドペーパー等で除去することをお勧めします。
- 既存の上り框と既存フロアに段差がある場合又は反り・ねじれ等変形している場合はサンダー、カンナもしくはパテ材等で補修をし高さが均一になるよう調整してください。  
**⚠** 施工後、段差があるとリフォーム枠の端部からプリント層が剥がれる場合があります。

#### 【2】上り框の切断

- 温度変化により若干伸縮を起こすことがありますので上下及び両端を実測値より0.1~0.2mm (名刺厚) 程度、短めにカットするようにしてください。
- 切断は表面 (プリント面) よりカッターナイフにて最後まで数回刃を入れてください。  
**⚠** リフォーム枠のカット時は下敷き等を敷いた上で手袋を着用し怪我のないよう充分注意してください。  
**⚠** カッターナイフの刃を入れすぎると表面 (プリント面) の跳ね上げが発生する恐れがあります。その場合、サンダーがけなどで補修処理を行ってください。

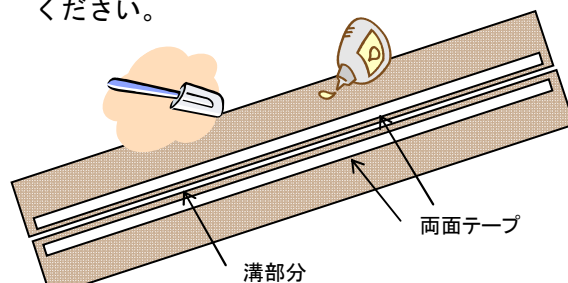


#### 【3】仮置き

- カットしたリフォーム枠を既存上り框に仮置きし寸法・密着具合等を確認してください。特に壁際についてはきつくなりすぎないようにサンドペーパー等を利用し微調整を行ってください。  
**⚠** 溝方向と逆側に折り曲げたり、強引に折り曲げたりするとシート部の白化や破損する恐れがありますので既存框のコーナー部分より鋭角に曲げないようにしてください。  
 (次頁※1)

#### 【4】接着剤塗布

- ウレタン系接着剤をリフォーム枠の裏面へラ等を使い均一に塗布してください。溝部分にも接着剤を忘れずに塗布してください。

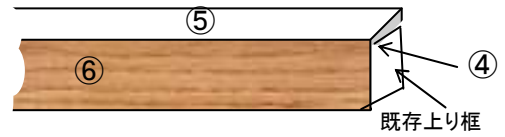
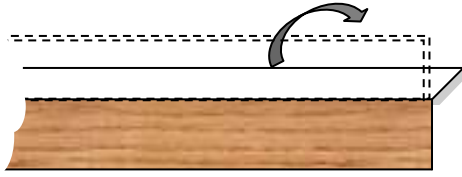


- ⚠** 取付けは両面テープと接着剤との併用施工です。
- ⚠** リフォーム枠の裏面に貼ってある両面テープは接着剤が硬化し安定するまでの仮留めですのでかならずご利用下さい。
- ⚠** 接着剤の塗布量・オープンタイム・接着可能時間等に関しましては接着剤の説明書に従いご使用ください。又、木工用ボンド等をご利用になりますと、接着不良や踏み鳴りの原因になりますのでご注意ください。
- ⚠** 両面テープの上に接着剤を塗布されますとテープの粘着力を損ないますのでご注意ください。
- ⚠** 接着剤は下記と同等なものをご使用ください。

社名	品名
リリカラ (株)	リリカラウッドボンド
	リリカラセメントU
アイカ工業 (株)	アイカエコエコボンド JW-410

## 【5】リフォーム枠の貼り付け

- ① リフォーム枠の天板部をゆっくりと折り曲げる。

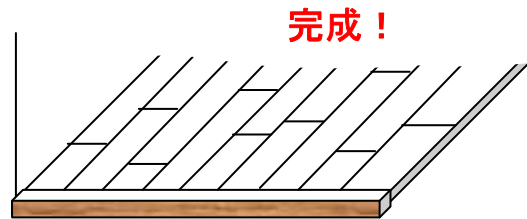
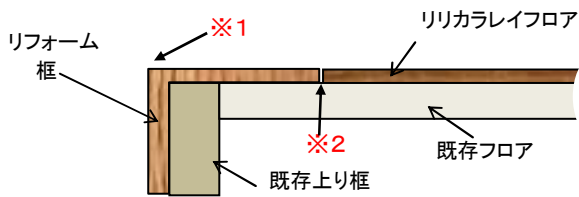


- ② 裏面の両面テープ（天板部）を剥がす。
  - ③ 少し開きぎみに既存上り框の上に被せる。
  - ④ 溝部分を既存上り框のコーナー部分に押し当て位置決めをする。
  - ⑤ リフォーム枠の天板部をハンドローラー等を使い圧着する。
- ⚠ つぶれ・反り等を引き起こす原因になる恐れがありますので端部についてはハンドローラー等の使用は控えてください。
- ⑥ リフォーム枠の前板部も同様に両面テープを剥がし既存上り框に貼り付け後、圧着する。

- ⚠ リフォーム枠貼り付け時、接着剤が既存フロア側にはみ出してしまうとリリカラレイフロア施工時に段差の原因となりますので、濡れ雑巾等で直ちに拭き取ってください。

## 【6】リリカラレイフロアの敷き詰め

- ⚠ 本リフォーム枠とリリカラレイフロアとは突きつけて施工を行ってください。その際、突きつけ部分は0.2mm（名刺厚）程度の余裕をもって施工してください。（下図※2）



- ⚠ 施工中又は施工後、表面に汚れ等付着した場合は中性洗剤で拭き取りを行ってください。シンナー、ベンジン等の溶剤系は絶対に使用しないでください。
- ⚠ 本製品は湿気の少なく、平坦な場所で横に寝かせた状態で保管するようにしてください。また、上に物を載せた状態で保管されますと変形・破損の原因になりますのでご注意ください。